

景観配慮協議申出書

令和3年 4月 8日

(宛先) 鎌倉市長



住所 横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2
 届出者 氏名 株式会社クリエイティブエス
 代表取締役 廣瀬泰三
 電話 045-914-8241
 住所 厚木市栄町一丁目17番10号
 代理人 氏名 センチュリーコンサルタント株式会社
 代表取締役 生形鉄夫
 電話 046-295-3311

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	中高層住宅地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外 /		
設 計 者	住 所	厚木市栄町一丁目17番10号	
	氏 名	センチュリーコンサルタント株式会社 代表取締役 生形鉄夫	電話 046-295-3311
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市梶原二丁目982番33外1筆	
	用 途 地 域	第一種中高層住居専用地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input checked="" type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 / <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外 /		
行 為 の 期 間	着手予定	令和3年6月1日	完了予定 令和3年10月30日 ,

(裏)

建築物の概要	用途	店舗				
	最高の高さ	7.50m	階数	地上 1階	地下 階	
	構造	鉄骨造				
	敷地面積	1477.91m ²				
	建築面積	522.83m ²	届出以外の部分	m ²	合計 522.83m ²	
	延べ面積	493.56m ²	届出以外の部分	m ²	合計 493.56m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m		
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²				
	仕上材	屋根	折版葺き ガルバリウム鋼板	色彩	屋根	10YR 2/3 茶色
		外壁	角波サイディング張 (タテ) 窯業サイディング張 (ヨコ)		外壁	7.5YR 8/2 ベージュ 5PB 2/6 ブルー
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²				
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²)	その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ²)	盛土 (m ²)	その他 ()		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	区画整理を行っており綺麗に整形された街並み全体的に傾斜地である
まち並みの連続性	道路、歩道が整備されており、主に戸建て住宅が建築されている
周辺建物のデザイン	主に戸建て住宅が建築されており色調も落ち着いた色が多い
眺 望 景 観	特色は無いが区画整理されている為、各敷地はきれいに整列されている
景 観 資 源	整形された住宅地

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	建物配置をなるべく戸建て住宅から離すように配置
形 態 意 匠	○	1階建て高さが7.50mありますが現状敷地が隣接敷地より低い為、そのままの敷地高さを利用し近隣住宅の目線から下がるようにして圧迫感を減らした。
色 彩	○	主にベージュ色の外壁にして落ち着いた色彩にした
建 築 設 備	◎	室外機は屋根の道路側に設置して住宅地側から見えないように壁を立てさらに防音効果にもなっている
外 構 緑 化	◎	接道部、住宅地側に周辺に緑地を設け周辺からの景観に配慮した

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		

自己評価 ◎：十分配慮した ○：配慮した △：部分的に配慮した ×：配慮できなかった